

部門	園芸	担当者	平門 隆良	協力		年度	17
課題名	1. 2年草花の品質向上						
目的	ホワイトレースフラワーの幼苗定植（寒天用土利用）の作業性の検討						
設置場所	月形町新栄	は場者名	青柳 俊治				

1 試験方法

(1) 耕種概要

- ①品目：ホワイトレースフラワー ②トレイ：200穴 ③用土：ソージミックスVTM
 ④播種日：慣行区5月26日 試験区（幼苗）6月3日 ⑤定植日6月13日
 ⑥試験区（幼苗）の寒天用土の作り方
 ・用土3Lに対して水1.8Lと寒天27gを5～10分沸騰させて溶解した溶液を混和してトレイに土詰めする。

→200～250円

(2) 試験区分

- ①慣行区 18日育苗定植（ソージミックスVTMをそのまま使用）
 ②試験区 10日育苗定植（ソージミックスVTMを寒天添加）

2 試験結果の要約

- 用土3L（1トレイ約2.4～3.0Lの用土が必要）に粉末寒天27g約200～250円のコストがかかる。
- 溶解する水が1トレイ当たり1.8L必要である。
- 溶解させる時間は15分以内でできる。
- 寒天水と用土の混和はまざりづらいので5分程度かかる。
- 土詰めは用土に水分が多いので3分程度かかる。
- 苗の生育は正常である。
- トレイからの抜き取りは容易である。
- 根鉢が崩れ根痛みをさせないで定植できる。
- 若苗で定植が可能である。
- 品質は慣行と同等であった。

3 考察

- コストがかかることと寒天用土を作ることに労力がかかるため大規模経営では導入しづらい。
- 若苗を定植することによって品質向上を期待したが品質は同等であったため、寒天用土による育苗は定着しないと考える。

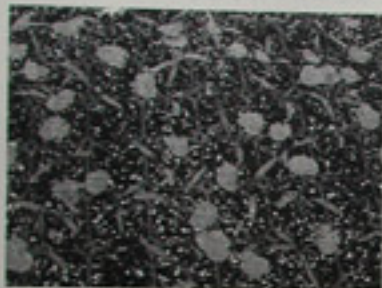
4 試験結果



寒天溶解



寒天用土詰め



慣行区18日育苗



試験区10日育苗



慣行区根鉢



試験区根鉢



慣行区トレイ下部の根



試験区トレイ下部の根

部門	園芸	担当者	平門隆良	協力	月形町花き青年部	年度	17
課題名	富養化土壌の硝酸態窒素の調査						
目的	越冬ハウス（カーネーション）の硝酸態窒素の変化を調査する						
設置場所	月形町新宮2			は場者名	相田晶司		

1 試験方法

(1) 耕種概要

- ① 3月27日定植
- ② カーネーション
- ③ 定植前の土壌 PH5.64 EC1.07

(2) 試験区分

- ① 慣行区：基肥 N-P-K=19.23-19.23-19.23 (kg/10a)
- ② 試験区：基肥 N-P-K=0.00-0.00-0.00 (kg/10a)

2 試験結果の要約及び考察

- (1) ECが高いハウス土壌では、基肥を施用しなくても生育は慣行栽培と同等であった。
- (2) 7月中旬の分析結果から、ECや硝酸態窒素の値が高いことから追肥量も控えたほうが良い。

3 試験結果

		慣行区	試験区
4月18日	P H	6.52	6.71
	E C	0.40	0.34
	硝酸態窒素	10.28	8.47
	作物の観察	慣行区・試験区とも同じ生育	

		慣行区	試験区
5月24日	P H	5.89	5.81
	E C	0.38	0.21
	硝酸態窒素	9.89	4.41
	作物の観察	慣行区・試験区とも同じ生育	

		慣行区	試験区
7月19日	P H	5.59	5.34
	E C	1.18	1.21
	硝酸態窒素	43.84	40.68
	作物の観察	慣行区・試験区とも同じ生育	